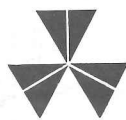


仙台育英学園

同窓会々報

発行所 仙台育英学園同窓会
〒983 仙台市宮城野区宮城野二丁目4-1
TEL 256-4141 園
編集 仙台育英学園
発行人 同窓会事務局
印刷所
欄トーヨープリントセールス
TEL 225-8771



加藤昭先生は学園長に

秀光中校 新校長として加藤雄彦先生が就任



梅雨もあがりいよいよ
待望の本格的な盛夏を迎

え同窓諸兄弟にはご健
にご活躍のこととお喜び
申し上げます。
日頃は本会にご協力を
いただき、お蔭様で母校
の隆盛と相俟って円滑な
運営が行われておること
に深く感謝いたしております。
我が母校、仙台育英学

仙台育英学園同窓会
会長 小坂 信雄

新校長先生のもと 母校の永遠の発展に努力

が興校され第一回生が入
学、ここに中高六年の一
貫教育がスタートし、今
から成果が望まされ、建
学百周年を迎える母校の
飛躍が一層加速されるも
の誠心慶賀に存じます。
この秀光中学校開設を
契機に、昭和三十三年以
来学校長として教育の陣
頭に立っておられた加藤
昭先生はご退任され、今
後は学校法人の理事長と
して学園の経営と、学園
長として学園全体を見守
られることになりました。
先生は、創立者加藤利
吉先生と共に戦後の学園
の再興に携わり、戦火に

よって焼失した学舎と、
駐留軍の接収により失っ
た校地の取得に奔走し、
宮城野、多賀城、松島、
那須、及び付属施設校
校地を擁する現在の学園
を築き上げられました。
他に例を見ない校長在任
三十八年という長期に亘
り建学の精神と、崇高な
教育理念のもと、戦後
の衰退した教育と新制度
移行という混乱のなか新
教育の確立と実践に努力
を重ね、教育環境と設備
の整備を図り教育効果の
向上に尽力され今日の日
充実した学園に導かれた

ご功績は尽大で筆舌に尽
し難く、ここに先生のご
労苦とご功績に、会員諸
兄弟と共に深甚なる感謝
の意を表し上げます。
後任には常務理事、事
務局長 加藤雄彦先生が
ご就任になりました。
新校長先生は、昭和五
十六年から前校長先生と
共に卓越した理念と、新
進気鋭の行動力をもって
着々と築かれており、建
学百周年を目指して邁進を
続ける学園にこれまで以
上の活力を与えられます
よう心からご期待申し上
げます。

ここに同窓会は前校長
の偉大なご功績とご指導
を体し、新校長のご指導
のもと母校の永遠の発展
のため一層努力すること
をお誓いいたします。
本年度総会が近づきま
したが、母校の大躍進に
合わせ建学百周年記念事
業実施等について審議を
計画いたしております。
当面、事業の強化を期
す、長期据置き会費の
値上げ改正を行ない、事
業の見直しを行なうほか
百周年記念事業基金を蓄
積する計画を検討いたし
ております。
また百周年記念事業基

金は、広く会員にも拠出
募金を実施する計画を検
討いたしておりますので各
位のご協賛をお願いいた
します。
その他、懸案事項処理
のため昨年総会でご承認
をいただいた小委員会を
設置いたし検討を重ねて
早期に実現して解決する
よう努力しております。
一層のご協力をお願い
いたします。
最後に、常に本会運営
にお力添えいただいてお
る学園関係者に深甚なる
謝意を表し、会員、及び
ご家族のご健康と繁栄を
祈念し挨拶いたします。

新校長先生の略歴
昭33・2・25 誕生
昭55・3・31 慶応義塾
大学経済学部卒業
昭57・3・31 同大学大
学院卒業(MBA取得)

このたび校長から学
園長に就任いたしました。
振り返れば、はじ
めて校長の職に就いた
のが昭和三十三年十月
一日。
当時のわが国は、戦後



学校法人仙台育英学園学園長

加藤 昭

若き指導者に

次代の教育を託したい

の混乱からようやく立ち
直ったというものの、
教育はもろもろのこと、
経済面においても復興の
途上であり、学校として
もやらないならならぬ
ことがたくさんあった時
代でもありました。
それだけに幾多の苦難
も経験して来たわけですが、
同窓生の皆様をはじめ
め多くの方々のバックア
ップをいただきながら、新
しい校舎も次々と建ちク
ラフ活動でも全国にその
名をどろどろと成果を取
るに至って、本学園の
教育が充実の一途をたど
たことは嬉しいことであ
り、なつかしい思い出で
もありません。
他に先がけて国際理解
教育の推進を図ったのは
昭和三十六年でした。や
がて昭和五十九年、全日
制普通科総合コース制の
導入、昭和六十一年には
新しく外国語コースを設
けて男女共学の実施—
これらは本学園の英知を

結果しての大決断だっ
たわけですが、他をリ
ードする仙台育英の申し
い出発の原点となった
ものと自認しております。
その後、多賀城、
松島にも校舎が完成し、
ついに今年長年の念
願であった秀光中学校
の開校に至りました。
二十一世紀を間もな
く迎えるこの時期に、
戦後五十年をひとつの
区切りとして今後の中
等教育の発展を考える
とき、若き指導者であ
る加藤雄彦常務理事に
そのあとを託することに
は時宜を得たものと思
い、今後とも従前にも
増してご援助ご指導を
賜りますようお願い申し
上げて御礼のご挨拶
いたします。

私が仙台育英学園に常
務理事として就任して皆
さんと学園生活をともに
送るようになって、今年
で十五年になります。就
任して二年後の昭和五十
九年(一九八四年)には、
県内初の「全日制普通科
総合コース制」を導入し
ました。これにより、
教養コースと並んで難関
大学への現役合格をめざ
す特別進学コースが誕生
しました。さらに二年後
の昭和六十一年(一九八
六年)には外国語コース

を設置し、仙台育英学園
高等学校で初めての女子
生徒を受け入れることに
なりました。次いで、平
成三年(一九九一年)に
特別進学コースを男女共
学にするともに、創立
百周年を記念して建設
された多賀城校舎に、
男女共学の英進コー
スを開設いたしました。
そして一昨年の平成六年
には松島校舎を整備し
て国際教養コースを新た
に設置し、現在の三校舎と
五つのコースによる普通
科総合コース制が形づく
られてきました。

この総合コース制は、
「本学園に学ぶすべての
生徒が自分の能力、適性
そして将来の希望、目標
に沿った教育を受けられ
る」ということを目指し
て建設された多賀城校
舎に、男女共学の英進コー
スを開設いたしました。
そして一昨年の平成六年
には松島校舎を整備し
て国際教養コースを新た
に設置し、現在の三校舎と
五つのコースによる普通
科総合コース制が形づく
られてきました。

その総合状況の中で、
日本の新たな未来をひら
く力となるのは何か。私
は、それがそれが教育の
力であり、グローバル・エ
デュケーションであると
考えます。地球規模を生
き抜くには、さきさき
と教養、行動力、そして
柔軟な対応力を持つ人間
。このような人材の育成
こそが時代の急務であり、
学園にも要求される重要
な課題であると思いま
す。

そのために、来たるべき二
十一世紀の創立一〇〇周
年に向けて、学園は教育
スタッフのプロフェッショ
ナル意識の高揚と、これ
を支援するためのより一
層の教育環境の充実に努
めてまいります。
とご約束いたします。



仙台育英学園秀光中学校校長
仙台育英学園高等学校長

加藤 雄彦

二十一世紀に向けて 一層の充実を図る

を託したい
結果しての大決断だっ
たわけですが、他をリ
ードする仙台育英の申し
い出発の原点となった
ものと自認しております。
その後、多賀城、
松島にも校舎が完成し、
ついに今年長年の念
願であった秀光中学校
の開校に至りました。
二十一世紀を間もな
く迎えるこの時期に、
戦後五十年をひとつの
区切りとして今後の中
等教育の発展を考える
とき、若き指導者であ
る加藤雄彦常務理事に
そのあとを託することに
は時宜を得たものと思
い、今後とも従前にも
増してご援助ご指導を
賜りますようお願い申し
上げて御礼のご挨拶
いたします。

その総合状況の中で、
日本の新たな未来をひら
く力となるのは何か。私
は、それがそれが教育の
力であり、グローバル・エ
デュケーションであると
考えます。地球規模を生
き抜くには、さきさき
と教養、行動力、そして
柔軟な対応力を持つ人間
。このような人材の育成
こそが時代の急務であり、
学園にも要求される重要
な課題であると思いま
す。

そのために、来たるべき二
十一世紀の創立一〇〇周
年に向けて、学園は教育
スタッフのプロフェッショ
ナル意識の高揚と、これ
を支援するためのより一
層の教育環境の充実に努
めてまいります。
とご約束いたします。

そのために、来たるべき二
十一世紀の創立一〇〇周
年に向けて、学園は教育
スタッフのプロフェッショ
ナル意識の高揚と、これ
を支援するためのより一
層の教育環境の充実に努
めてまいります。
とご約束いたします。

あり、喜ばしいことです。
一方、生徒たちは、自
分の将来を握りて、日々
資格・検定制度への挑戦
を続け、コース別の目的
に沿った努力をしてくれ
ています。その結果、景
気の回復が思わしくない
状況にもかかわらず、多
くの同窓関係者のご支援
のもと、就職希望者に対
しては、〇〇%の就職率
を連続して達成するこ
うできました。

さて、まもなく訪れる
二十一世紀を考えると、
グローバル・エデュ
ケーションの推進という
課題は、急速に進化する
世界の国際化の流れの中
で、ますます欠かさない
ものになると思えます。
国際社会において、地理
的、あるいは言語・風俗・
習慣等で特殊性を持つと
言われる日本は、未来に
たいして必ずしも明るい
展望が約束されてはいま
せん。むしろ次代の国際
社会においては、その特
殊性ゆえに孤立化してい
く可能性もあると言えま
しよう。

六十年の追憶

同窓会副会長
玄遠書道教室主

大江田 光雄 (昭10旧中卒)



追憶は思い出せば出す程新らしくなるものだ。育英を卒業したのは今から六十年前のことになる。昭和十年だから、今の天皇が誕生した年で軍部の抬頭が著しく非常な焦莫い時勢になってきた。育英との係り合は偶々祖母の遺言で叔母の養子になり、仙北の一寒村から高等科一年修了で来たから。その後五橋の二年を終了したが、折しも当時は昭和初期の経済恐慌の渦中で、養父の勤め先の会社が仙台出張所の閉鎖で失業し、今様脱サラに変身し豆腐屋を開業した。一年後は家業の手伝いで過したものの、向学の念やみ難く、育英の二年編入試験に合格したのでその契機である。

人餅の差入れれなも大分お世話になったものだ。校舎の西側は大聖寺というお寺があり、境内には大きな鐘楼があったが、一向に鐘の音を聞いた記憶がない。多分除夜の鐘でもついたものか？その鐘楼の傍に寺の経営になる幼稚園があつて若い二人の保育先生がいて、可成りの美人で一人は和装で紫の袴を着て、もう一人は洋服の似合う誠にか憐らしいものように見えた。園児を伴つて園庭で遊戯を始め、校舎二階の窓からニギト顔つし、一斉に陳列し奇声を揚げ立てる。中には何処で仕入れたか保育さんの名前誰々先生愛してるなど叫ぶものだから、彼女達もいたたけず顔を真赤にして園児共々早々に教室に避難する一幕もあつた。市電通りの向側が唯一の市警察署で、校舎側の西隣には、代書屋、差入屋、留置、拘置されて入れる業者が軒を連ねている者に弁当、日用品を入れる業者が軒を連ねていた。

追憶は数限りないが、今でも強烈な思い出は加藤利吉先生のことである。戦後何年頃だったのか定かでないが、確か先生は戦時中に用いられた防空カバンというものがあつたが、それを肩にかかけられていた記憶があるから、多分昭和十五年頃であつたらう。大学病院前で偶然先生が何処からかの帰りがけにお逢いしたのである。「校長先生ご無沙汰いたしました」と挨拶をする。先生は「大江田君元氣だね」と名前をハッキリと呼ばれた時、特段の覚えめでたき生徒でもなかつたのに、先生の記憶の素晴らしさにいたく感激したものだ。

育英を卒業して

東京支部長
福来

實 (昭20旧中卒)



昭和二十一年に育英を卒業して上京し大学に進み

ました。終戦直前の年で日本は未曾有の大混乱の世情でした。そんな時に生れてはじめて仙台を離れて、東京で学生生活をおくるということが相当の覚悟を要しました。平成六年の育英同窓会の会報に「我が育英時代」と題して書きました。そ

ないでしようか。胸像の穏やかな尊顔も、微笑みを浮かべられて、温かく語りかけてこられるように感じられてなりません。

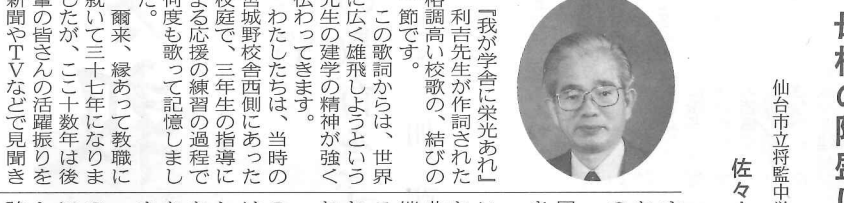
この度、学園の創立百周年を前に、校長先生や常務理事さん、「ほえろ！ライオン先生」と題して、予てからの念願であった利吉先生のご生涯と業績を著し、建学の精神を具体化されましたこと、誠に時宜に合った快挙でした。心からお慶び申し上げます。

先生の波瀾万丈のご生涯の中、教育愛一筋を貫かれ身を捧げられたお姿は実に劇的で感動的、誰しもが胸中に熱いもの込み上げてくるのを押さえることはできないでしよう。

このことによって、心の中の願いとか信念とかは、持ち続けながら努力していき、そこに限りなく近づいていくのではないかと思うようになりました。このように、利吉先生の

母校の隆盛に思う

仙台市立将監中学校校長
佐々木 芳輝 (昭30卒)



『我が学舎に栄光あれ』利吉先生が作詞された格調高い校歌の、結びの節です。

この歌詞からは、世界に広く雄飛しようという先生の建学の精神が強く伝わってきます。

わたしたちは、当時の宮城野校舎西側にあった校庭で、三年生の指導による応援の練習の過程で何度も歌って記憶しました。

爾来、縁あって教職に就いて三十七年になりましたが、二十数年は先輩の皆さんの活躍振りや新聞やTVなどで見聞き

のなかで育英では、入学から卒業まで非常にきびしい担任の先生に鍛えられたことは、私共にとりまして本当に忍耐と努力の精神が培われたものでした。

慶応大学に入学して間もなく敗戦をむかえて、日吉校舎はアメリカ軍に接収されてしまいました。私の医学部と工学部の予科は、川崎の登戸の山の中にある旧日本軍の技術研究所跡が仮の校舎となって移りました。

現在、私は、仙台市立将監中学校校長として、二十一世紀を担う子供たちの育成に当たっており、育英出身の教育者も多く、互いに連絡をとりあって、母校の更なる発展に、微力ではありますが関与することができると思っております。

那須研修について

母校職員
神井 庸彦 (昭29卒)



小生、平成八年三月をもって亘理町の荒浜中学校を最後に定年退職し、現在母校の事務職員として那須研修センターで一年生を対象にした野外活動の指導をしています。

研修センターに到着し入所式を行い夜はパーベキューを食ベテントですすみます。二日目は六時に起床し六時三十分より朝食を

感じました。でも今までの経験を生かし頑張っていく覚悟です。それで那須研修センターでの二泊三日の活動を紹介します。一学年全クラスを二組三組を単位として学校のバスを利用して行きます。

会報発行協力金の御礼とお願い
本年は1,010名の方から446,300円の協力金を送金されました。平成8年度の予算に繰り入れ、通信費として会報送付のために使わせていただきます。

平成8年度 仙台育英学園同窓会
総会 (全体会) と懇親会のお知らせ
恒例により左記の通り総会 (全体会)・懇親会を開催します。母校より校長先生はじめ恩師をお招きし、楽しい会にしたいと思っております。

寺は我が家の菩提寺でもありますので先祖の墓前で演奏することは、まさに感無量です。私は間もなく七十才に近づきますが、心は二十才の成人式を謹んで迎える気持です。足らざるどころは、改めて勉強したいと思っております。

一・三会雑感

同窓会副会長 鈴木 三郎(昭14卒)



突然の依頼なので実は戸迷って仕舞いました。何せこの年になること新聞を讀んだりすること割合に楽なんです、ペンを握って文章を書くことが本当に才、苦になつて来ます。

我々一・三会の面々も大正十年生れなので一番若い人でも喜寿と云ふこととて間もなく傘寿を迎えようとしています。

昔、ウグイス嬢

母校教員 古宮 紀子(平3外卒)

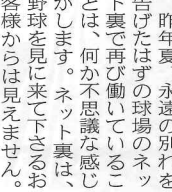


生まれて初めて念願のウグイス嬢としてマイクの前に座つたのは、平成六年七月十八日、第二試合、偶然にも母校育英の初戦、対石巻商業戦でした。「最初に育英はきついかもね」という先輩の言葉通り、大量点をリードした育英は、どんどんメンバーをチェンジし、どことがどう変わったのか、誰が誰に変わったのか、バニツク状態に陥りました。

と誓い合ふ昨今です。かのマッカーサー將軍でないけれど、老兵は死なす。只消え行くのみ、の心境です。誠に淋しいことながら近況をお知らせしてペンを置きます。

剣育会創立四十周年に寄せて

仙台グリーンホテル料飲部長 鈴木 正志(昭31卒)



また受け入れていただきました。部内の事務処理は、大学時代、マネージャーとして、してきた仕事の延長の部分が多少ありま

母校、剣道部OB会の創立四十周年の記念すべき節目を迎えました。四十年という年月は短くもあり、又長い道程であつたようにも感じております。

硬式野球部OB会 活動状況等について

硬式野球部OB会会長 高橋 泰典(昭42卒)

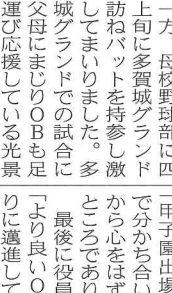


硬式野球部OB会活動についてご報告させていただきます。平成八年度のOB会総会は若手中心に六月八日に無事終了し、今年も昨年同様「楽しいOB会」に参加してよかったなあ」と言っていただけの会をモットーにと再確認した

特に加藤校長先生より、仙台育英学園高等学校長杯を男、女各一個を御寄贈いただき大会に華を添えて戴き大変感謝を致しております。

友人に利益を与えよ

昭和35卒同期会長 下山 三千夫(昭35卒)



また、新年早々に「新年会」を開催し、地元の方ほもとより関東方面等からも多数かつけつけていただき、楽しい一時をすごすことができました。

私達、同期会を今年二月末(土)に宮城第一ホテルで開催致しました。同期の所在が確認された出席者は二〇五名で出席者は約七〇名程度。



流通大学2年 ジョン・マイタイ(平6教卒) (ケニア出身) 写真右

高校三年間の思い出 私の名前がジョンです。ケニアのナロビに住んで、ケニアのアフリカにいます。ケニアは日本より大きくて3倍あります。私は1992年5月14日日本にきました。初めて新しい生活は何週間もたつていません。日本の学生はほとんど英語がしゃべれないので、私は英語とスワヒリ語を話したからです。そしていよいよ日本語の勉強をがんばります。

注) ジョン・マイタイ君の自筆です。 大会の趣旨として(宮城県中学校総合体育大会に出場する仙台市内の中学校の参加を求めて剣道の競技力向上と共に普及発展を図ると共に青少年の健全育成を通じて豊かな人間づくりを目的)としております。

投打で圧倒 育英「夏」つかむ

高校野球 宮城大会 最終日

3年連続仙台育英選手が自分の役割を全うし

宮城大会は、初回、4安打を絡めて一巡目を走らせた。その後、八回を除き、毎回ランナーを繋ぎ、リードを広げた。これに対し、仙台育英は四回、二死、二塁からの中前打で、点を返し、七回にも点を加えて反撃に出たが、カープスライダーを振り交えながら、宮城育英一を突き、仙台育英の吉川、4安打を叩き込まれ、涙を流した。

仙台育英が三年連続十四度の甲子園。第七十四回全国高等学校野球選手権大会は最終日の二十六日、仙台市の宮城球場で仙台育英一対仙台育英二の決勝が行われ、仙台育英が投打で仙台育英を圧倒、三回で勝ち甲子園への切符を手に入れた。

(この日の仙台育英は、宮城大会三・九度、六・三回連勝の真面目な記録。三連勝を自慢する仙台育英と、仙台育英を倒す仙台育英二と、昨年の決勝戦と同じ顔合わせに、グラウンドでもスタンドでも空回り系

日本アマ

18歳星野が初優勝

東北勢で最少スコアも記録

初制覇で最少スコアも記録
セントラル地区の仙台育英は、9打者の首位でスタート。アンダーの9回、初優勝し、70回連続した。279は、九九年を引継ぎ、引継ぎして優勝した。279は、九九年を引継ぎ、引継ぎして優勝した。279は、九九年を引継ぎ、引継ぎして優勝した。

東北福祉大一年
星野英正
(平成七年卒)

記録づくめ 満面に笑み



通算9アンダーで初優勝した星野英正＝日光CC



3年連続14度目の甲子園出場を決め、グラウンドに飛び出し、抱き合って喜ぶ仙台育英の選手たち＝宮城球場

平成6年度 同窓会事業報告並びに収支決算書 (平成6年8月1日～平成7年7月31日)

◎ 収支決算書

収入の部				摘要
科目	予算額	決算額	差額	
会費	6,708,000	7,937,930	1,229,930	¥130×延べ61,061名
繰越金	2,016,972	2,016,972	0	
雑収入	845,800	10,890	△834,910	利子・名簿販売
計	9,570,772	9,965,792	395,020	

支出の部				摘要
科目	予算額	決算額	差額	
会報費	1,400,000	1,782,179	△382,179	第38号発行、第39号発行準備
名簿費	113,721	0	113,721	
補助費	90,000	0	90,000	
助成費	70,000	70,000	0	育英祭補助
記念品費	536,000	724,605	△188,605	湯呑茶碗 @¥335×2,100名及び消費税
強化拡充費	290,000	300,721	△10,721	各支部補助等
会議費	840,000	644,703	195,297	総会・諸会議補助
通信費	4,435,800	248,695	4,187,105	各通信
事務用消耗品費	5,251	53,358	△48,107	事務用品
雑費	770,000	577,452	192,548	慶弔費・印刷費・広告費等
旅費交通費	190,000	205,680	△15,680	岩沼支部・東京支部等
基金積立金	820,000	820,000	0	
予備費	10,000	0	10,000	
計	9,570,772	5,427,393	4,143,379	残金¥4,538,399は平成7年度へ繰越

基金積立金	平成5年度預金高	2,599,623
	利子	18,080
	平成6年度繰入金	820,000
	計	3,437,703

会報発行協力金	平成5年度までの残金	839,678
	平成6年度	940,420
	利子	8,241
	計	1,788,339
	平成7年度雑収入への繰入金	900,000

監査の結果、上記の通り相違ないことを認めます。平成7年8月9日

同窓会監査
今野 仁
大宮 照
千 葉 夫
行 夫

平成7年度 同窓会事業並びに予算書 (平成7年8月1日～平成8年7月31日)

◎ 事業案

1. 各支部の強化拡充
2. 同窓会会報の発行
3. 平成7年度卒業生に対する記念品贈呈
4. 生徒会クラブ活動の助成
5. その他

◎ 予算書

収入の部				摘要
科目	決算額	予算額	差額	
会費	7,937,930	7,488,000	△449,930	¥130×4,800名×12月
繰越金	2,016,972	4,538,399	2,521,427	
雑収入	10,890	910,000	899,110	銀行利子等¥10,000 会報発行協力金から繰入金¥900,000
計	9,965,792	12,936,399	2,970,607	

支出の部				摘要
科目	決算額	予算額	差額	
会報費	1,782,179	7,000,000	5,217,821	第39号発行、第40号発行準備
名簿費	0	300,000	300,000	メンテナンス料
補助費	0	100,000	100,000	
助成費	70,000	100,000	30,000	生徒会活動助成
記念品費	724,605	840,000	115,395	湯呑み茶碗 @¥400×2,100名
強化拡充費	300,721	700,000	399,279	各支部援助・各クラス会及びOB会等の援助
会議費	644,703	900,000	255,297	総会・役員会等補助
通信費	248,695	1,000,000	751,305	各通信
事務費	53,358	250,000	196,642	
雑費	577,452	1,000,000	422,548	慶弔費・印刷費・広告費等
旅費交通費	205,680	250,000	44,320	支部総会等への役員派遣
基金積立金	820,000	0	△820,000	
予備費	0	496,399	496,399	
計	5,427,393	12,936,399	7,509,006	